

特定非営利活動法人アートコラールきくがわ

令和２年度 事業報告

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

１．事業成果

「出会いとつながり」をモットーに、NPO・行政・学校・企業などをつなぐコーディネーター役として、地域における市民活動支援、芸術文化支援などの活動を通して、地域の課題解決や魅力を高めることにつなげた。また、NPOの信頼性・透明性に努めた結果、非営利組織の「信頼性」を外部機関が第三者として認証する「グッドガバナンス認証」を取得した。

(1)市民活動支援事業

市民活動の相互連携のコーディネーター役として、地域におけるNPOや行政、学校、企業などの協働を推進する。主に菊川市市民協働センターを受託・運営し、市民活動に関する相談や団体設立の支援をはじめ、市民協働を推進するための各種講座・セミナー開催、広報紙発行やホームページでの情報発信などを実施した。また、活動の拠点を菊川市役所新庁舎東館（プラザきくる）に移転したことで、まちの賑わい創出につながる支援や事業を展開した。

(2) 芸術文化支援事業

まち×人×アートプロジェクトでは、高校生が地域の人たちと交流を深めながら表現力や発想力、豊かな感性を発揮し、アートの持つチカラでまちの賑わいの創出につなげ、菊川の魅力を発信することができた。美術デザインを専攻する生徒や工業高校で情報技術を学ぶ生徒らは自らの発想でプロジェクトの企画を提案・実現することで、得意なアートで地域貢献するなど大きな達成感を味わってもらうことができた。

(3) まちづくりネットワーク形成に関する事業

中間支援及びアート支援の団体として、これまでの取り組みで培ったネットワークや経験を活かし、中東遠地域をはじめ県内各地において協働のコーディネーター役としての役割を果たした。

2. 実施内容

(1) 市民活動支援事業

① 菊川市市民協働センター受託事業

多様な主体をつなぐコーディネート

市民活動団体交流会「きくせん交流会①」の開催

開催日：令和3年3月6日（土）

会 場：プラザきくる2階多目的エリア

対 象：市民協働センター登録団体

参加人数：20人（15団体）

内 容：多様な分野の市民活動団体が集まり、日ごろ困っている課題や活動内容等について情報交換を行い、活動のステップアップと連携促進を図った。

市民活動団体交流会「きくせん交流会②」の開催

開催日：令和3年3月23日（火）

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：一般（センター情報紙インタビュー掲載者）

参加人数：16人

内 容：仕事帰りなどに気軽に立ち寄れる交流できる場「夕暮れカフェ」を来年度から始めるにあたり、その内容や進め方について意見を交わした。参加者は、センター通信紙「菊川びとにインタビュー」に掲載された人などに集ってもらい、今後は地域で活躍するひとのトークを軸に、「ひと」にスポットを当てながら菊川の魅力発信につなげていく。

ランチミーティングの開催

開催日：令和2年8月～ 令和3年2月 偶数月の初日

会 場：菊川市市民協働センター（会場及びオンライン）

対 象：一般

参加人数：延べ27人

内 容：年度当初は新型コロナウイルスの影響もあり予想どおり開催できなかったが、8月以降はオンライン等を活用しながら交流の機会を創出し、連携のきっかけづくりにもつながった。

市民活動スキルアップ講座 「オンライン ZOOM 研修」

開催日：令和 2 年 8 月 3 日（月）

会 場：菊川市市民協働センター

講 師：菊川市市民協働センター スタッフ

参加人数：9 人

内 容：Web 会議の経験のない方、慣れない方を対象にまずは触れてもらい、自分でもできると感じてもらうためのオンライン講座を開催した。開催前には、ZOOM のダウンロードや基本的な使い方を伝える個別対応（7/17, 7/31）も実施した。

市民活動スキルアップ講座 「オンラインコミュニティ講座」

開催日：令和 2 年 8 月 24 日（月）

会 場：菊川市市民協働センター

講 師：ことのはスクエア 代表 橋本恵子氏

参加人数：6 人

内 容：元テレビ局アナウンス室長でことのはスクエア代表の橋本恵子氏を講師に招き、個々の参加者と Web 会議システム「Zoom」で接続しながら行った。講師自身がオンラインを経験してきた中で感じたことをまとめた「コミュニケーションのコツ」の事例を紹介した。
その後、参加者は個別に講師から話し方のアドバイスを受けた。

市民協働基礎講座～SDG s から考える市民協働

開催日：令和 3 年 1 月 26 日（火）

会 場：講 義：プラザきくる 3 階会議室

座談会：菊川市市民協働センター

講 師：しずおか SDGs ネットワーク 代表 木下 聡 氏

参加人数：講義 23 人 市民活動団体と菊川市役所協働推進庁内ワーキンググループ
座談会 10 人 市民活動団体

内 容：[講義]

「SDG s から考える市民協働」と題し、市 SDG s の基礎知識や SDG S の視点で地域の持続可能性や活性化を目指す事例から、今後の取り組みのヒント等を市民活動団体と市職員が一緒に学んだ。

[座談会]

講義終了後、木下氏から自身（一社代表）が 4 月より静岡市から受託し運営する「あさはた緑地公園」などより身近な SDG s の事例が紹介された。。

参加した市民活動団体からは講師の経験やSDGSの今後の進め方など様々な質問が寄せられた。

コミュニティ協議会 懇話会 「コロナ禍におけるコミュニティ協議会活動」

開催日：令和3年1月29日（月）

会 場：プラザきくる3階会議室

ファシリテーター：菊川市市民協働センター長 笠原活世

参加人数：22人（市内11地区コミュニティ協議会役員等）

内 容：「コロナ禍におけるコミ協活動」をテーマに、4地区のコミュニティ協議会が発表した。先進事例や情報交換会等を通じて、各地区の役員等が自らの地域（地区）の現状を客観的に把握するとともに、他地区や市民活動団体との協働のきっかけづくりにした。

市民活動・企業のCSR活動等の相談対応

団体の運営で生じる様々な問題に対応するための常設の相談窓口を引き続き設置するとともに、他の機関と連携し団体等のニーズに合わせた専門的な相談にも応じた。

日常相談

開催日：年間を通して

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：市民、市民活動団体、行政、学校企業

内 容：年間を通じて日常的に相談窓口を開設し、相談に応じることで市民が社会貢献活動を始めるきっかけやマッチングにつなげた。

また、団体の活動内容にあった伴走支援をすることで、地域の活性化や課題解決につなげる支援や新たな市民活動団体が生まれた。

専門家相談会の開催（当NPO会員によるプロボノ活動）

*行政書士相談会

開催日：偶数月の第2木曜日

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：主に市内NPO法人、

専門家：行政書士 滝井浩平氏

* 税理士相談会

開催日：不定期

会 場：菊川市市民協働センター、市内 NPO 法人の事業所

対 象：主に市内 NPO 法人

専門家：税理士 杉山重人氏

* SDG s 活用相談会

開催日：令和 3 年 2 月 10 日(水)

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：SDG s に関心のある企業

専門家：中小企業診断士 勝又 徹氏

内 容：企業の社会貢献活動の理解促進や、参加のきっかけづくりとして開催。

SDGs に取り組んでいる企業として認めてもらうために認定取得や今後
どのような取り組みが必要かなど具体的な相談に応じた。

* ソーシャルビジネス相談会

開催日：不定期

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：ソーシャルビジネスに関心のある市民、市民活動団体等

専門家：ソーシャルビジネスアドバイザー 川端務夢氏

内 容：主にソーシャルビジネスセミナーの受講生を中心に相談に応じる。

日常相談・専門家相談延べ相談件数 6 6 6 件

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：市民・市民活動団体・行政・学校・企業等

内 訳：団体運営 274 件、マッチング支援 174 件、情報発信 119 件、
事務手続き 82 件、資金調達 17 件

センター広報紙「きくせん通信」

発 行：毎月 1 回 第 3 木曜日

配 布：毎回 2,000 部発行、市内自治回覧、公共施設等に配架。市民協働センター
主催の講座やセンター来館者に配布

内 容：多くの市民に地域活動に関心を持ってもらうため、市民協働センター主催
のセミナー・イベント特集をはじめ、プラザきくる周辺の賑わい事業の紹

介、市民活動団体のイベント案内、菊川で活躍中のひとのインタビュー等を掲載した。

市民ライター講座 2021 新聞記者から学ぶ書く力・伝える力

開催日：令和3年2月22日（月）

会 場：菊川市役所東館プラザきくる多目的エリア

講 師：宮坂武司 氏（静岡新聞社掛川支局長）

参加人数：20 人

内 容：「まちを思う心を醸成し、自ら情報発信してくれる市民を育成するために開催した。プロの新聞記者から、書く力、聴く力を伝える力を学ぶことで、地域の活動やまちづくり活動の情報を積極的に発信する人を増やすことにつながった。

ホームページ・SNS等を活用した情報発信

実施日：1年間を通して

内 容：市民協働センターや市民活動団体のイベント・セミナーの告知や社会貢献活動に関する情報を広く発信。

実 績：情報発信 SNSでの情報発信数 213件 HP更新件数 29回

市民協働人材育成講座 「ワークライフ変革講座」

開催日：令和2年10月13日（火）

10月27日（火）

令和3年1月19日（火）

会 場：菊川市役所庁舎東館プラザきくる多目的エリア

講 師：大道和哉氏（社労士オフィスロード代表）

参加人数：延べ40人

内 容：働き方改革が目指す方向性をとらえ、現在のコロナウイルス禍において、自立型人材が求められていることを理解する。また、自立性を確立するためにヒントを学び、「人材への変革をテーマに実施。具体的に日々の「時間」と「お金」使い方を見直すきっかけづくりとなった

市民協働人材育成講座 シニアライフセミナー「人生100年時代の楽しみ方」

開催日：令和2年8月28日（金）

会 場：菊川市役所庁舎東館プラザきくる多目的エリア

講 師：原田和正 氏（特定非営利活動法人静岡団塊創業塾 理事長）

参加人数：9 人

内 容：講師が実践してきた3つのテーマ「自分を探そう」「やることを探そう」「仲間を探そう」に沿ってハッピーに生きるためのヒントを探していく。後半は、参加者が自身の過去や未来の元気レベルを「人生元気度曲線」に描いて発表したり、自分が好きなことや得意なことを話し合ったりした。

NPO 法人訪問

開催日：令和2年6月16日～7月6日

会 場：NPO 法人の各活動場所（事務所）等

対 象：菊川市内 NPO 法人（18 法人）

内 容：市内で活動している NPO 法人（18 法人）を訪問し、現状や課題等のヒアリングを行い、今後の活動推進に向けた意見交換や支援策等の紹介を行った。また、必要であれば関係者につなぐなど、活動の基盤強化を図るとともに、各団体の活動内容や主催するイベント等の情報を収集し、情報発信を行った。最後に、秋に開催予定の中高生 NPO 体験セミナーについて説明し、受け入れ先としての協力をお願いした。

新型コロナウイルス感染症に関する市民活動団体アンケートの実施

期 間：令和2年3月11日～4月22日

対 象：市民協働センター登録団体

回答数：37 団体

結 果：【別添】新型コロナウイルス感染症に関するアンケート結果報告参照

協働ガイドブック 2021 発行

内 容：多くの市民に市民活動に関心を持ってもらうきっかけづくりや、団体同士や企業との協働促進を図るため、センター登録団体 72 団体の活動内容や協働事例、企業のCSR活動、協働センターの事業等を1冊にまとめた冊子を発行した。今回のガイドブックでは、各団体のSDGsへの取り組みの表示等も行った。

掲載団体：87 団体

発 行：180 部発行。

配布先：市民協働センター登録団体、県内中間支援センター、菊川市役所関係課
企業、公共機関、高校等へ配布

初めてのボランティア（ちょいボラ）講座

開催日：令和2年7月30日（木）

会 場：菊川市市民協働センター

講 師：塩澤恵美氏

参加人数：16人

内 容：身近なところからボランティア活動や市民活動を体験する「ちょっとボランティア。NPO 法人「メイク・ア・ウィッシュ」を通じて、難病と闘っている子どもたちの夢をかなえ、生きるちからや病気と闘う勇気を持ってもらうためにプレゼントするチャリティー企画に参加。市内外に広くボランティアを募り、手作りカードを作成した。

中学校との連携 キャリア郷育

実施日： ①令和2年11月6日（金）

②令和3年1月15日（金）

会 場：岳洋中学校

参加人数：延べ生徒34人、保護者10人

内 容：市民協働センターの仕事の魅力や役割、中学生職場体験や中高生 NPO 体験セミナーなど中学生の身近な取り組みを紹介。後半は、菊川の魅力や自分の好きなことや得意なことで人や地域の困っている人のために役に立てることを考えるワークショップを実施した。

高校との連携 課題解決型キャリア教育

開催日：令和2年7月15日（水）

会 場：静岡県立小笠高等学校

内 容：社会人講師9人の紹介、

講師は主に人材育成講座修了生など地域で活躍する人が高校生を対象に講話し、その後高校生たちが地域課題を解決するための企画を考案する。

対象者：総合高校1年生 約200人

高校との連携 情報技術課題研究の連携

開催日：令和3年3月19日

会 場：菊川赤レンガ倉庫

内 容：掛川工業高校生徒のプロジェクト上映のための支援

参加者：1,000人以上

静岡県高校生サミット

開催日：令和3年2月14日

会 場：オンライン

内 容：菊川市の高校生の活動報告、ダイアログセッションのファシリテーター

参加者：約200人

大学生・高校生のインターシップの受け入れ

開催日：8月4日～9月9日のうち9日間

会 場： 菊川市市民協働センター、市内 NPO 法人の活動会 場等

参加人数： 13 名（大学生 9 人・高校生 4 人）

中高生 NPO 体験セミナー

事前学習会：

開催日：9月19日(土)

会 場：菊川市役所東館プラザきくる多目的エリア

協 力：TEAM439、キーパーソン21 静岡チーム

内 容：ミニ講座、トークセッション、

ワークショップ「自分のわくわくエンジン*を見つけよう」

中高生にとってより有効なセミナーとするために、NPO についての知識を勉強する場を設けた。また、自分らしい未来をつくるキャリア教育を実践している NPO 法人キーパーソン 21 の協力のもと、自分を知り、自分の意志で取り組むことを引き出すようなプログラムも実施した。

体験活動

開催日： 令和2年10月3日（土）～12月28日（月）

*期間中にあわせ、各 NPO 法人が開催日を設定

会 場：菊川市内各所

参加人数：中高生 34 人

共 催：市内 NPO 法人 9 団体

内 容：次世代を担う中高生が環境、多文化共生、災害支援、不登校生徒への対応など様々な NPO 活動を体験することで社会貢献を身近に感じてもらった。

菊川市役所庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの運用と賑わい創出

時 期：年間を通して

対 象：市民、市民活動団体、学校、企業、行政等

内 容：菊川市の賑わい創出の核となる庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの柔軟な運用や利用促進を図る。

日常業務

多目的エリアの運用、利用促進

- ・活用事例の紹介、30 件、情報発信 20 件

イベント情報の収集・整理と発信

- ・情報発信 20 件

外部人材との連携支援、新たな活動やコンテンツの創出

- ・ 2 件

イベントの相談・支援

視察の受け入れ

- ・ 認定 NPO 法人しずおか環境教育研究会、NPO 法人ホールアース、沼津信用金庫、御前崎市議会 等 26 件

菊川市役所庁舎東館「プラザきくる多目的エリア」学生利用者アンケートの実施

実施期間：令和 2 年 7 月 2 日～9 日(日曜日を除く 7 日間)

対象者：高校生

回答数：305 人

結 果：【別添】プラザきくる多目的エリア学生利用者アンケート参照

菊川市賑わいづくり創出事業への協力

実施期間：年間を通じて

会 場：菊川市市民協働センター

内 容：菊川市賑わいづくり創出事業への協力

講座・セミナーの募集等の事務作業、きくがわ未来会議の開催、市民活動団体の調整等

ひろまちコラボ

実施日：令和 2 年 9 月から 毎月第 2 火曜日

会 場：きくる広場から菊川駅周辺

内 容：ゴミ拾いをしながらの様々な団体や企業等が交流を深める活動。定期的に開催することで、地方銀行、信用金庫等の CSR 活動として定着してきた。

参加者：市民活動団体、金融機関、企業、市民等 延べ約 100 人

その他協働推進に関する業務

菊川市地域づくり活動交付金事業 審査会、報告会への協力

実施日：令和2年12月5日（土）

令和3年3月6日（土）

会 場：菊川市役所東館プラザきくる会議室、多目的エリア

内 容：運営補助

② その他周辺市町の協働推進事業

御前崎市地域協働支援アドバイザー

市民活動団体相談対応日常相談

実施期間：年間を通して

会 場：御前崎市役所、菊川市市民協働センター

内 容：マッチング支援、団体運営、情報発信等

地区センター面談等の実施

実施日：令和3年1月

会 場：御前崎市内8地区センター

参加者：御前崎市各地区会長、地区センター事務長等

対応者：NPO 法人アートコラールきくがわ 理事長 笠原活世

内 容：コミュニティ活動についての現状と課題についてのヒアリングをし、菊川市の事例紹介などをしながらアドバイスをした。

市民活動スキルアップ講座「御前崎未来ゼミ」

第1回「ローカルプロジェクトで未来を豊かに」

～アメリカ先住民フィールドワーカーが地元で始めたこと～

開催日：令和2年9月23日(水)

会 場：渚の交番

講 師：一般社団法人 SACLABO 代表理事 渡村マイ氏

参加者：26人

内 容：講師からは、地域に関わる人がつながることで、課題解決や新たな魅力が

生まれた「藤枝おんぱく」の事例などを交えながらこれからのまちづくりのヒントをが話された。

第2回「アイス屋がゴミを拾ったら教授になった」

～小さな行動がビジネスにも役立った！新たな未来をつくる方法！

開催日：令和2年10月16日(水)

会 場：渚の交番

講 師：NPO 法人サプライズ 代表理事 飯倉清太氏

参加者：23 人

内 容：講師からは、「小さな実績を積み重ねた信用の貯金には公共性が必要」「産学官民の視点から見た地域活性」「これからの時代に必要な経済的利益と社会課題の解決」など今後の協働の推進につなげるヒントを学んだ。

中高生 NPO 活動体験プログラム

開催日：令和2年12月13日(日)

会 場：御前崎市研修センター大会議室

協 力：NPO 法人はまおか日本語教室

内 容：日本語教室外国人の初心者クラスのサポート

高校生たちは在日外国人が日本語を習得するための日本語教室に参加。

最初に日本語習得のレベルで分かれている4つのクラスを経験した後、各クラスに分かれ日本語を教えるほか、ゲームを通して外国人たちと交流した。

御前崎市役所 職員研修

開催日：令和3年2月26日(金)

会 場：御前崎市役所会議室

講 師：NPO 法人アートコラールきくがわ 理事長 笠原活世

対 象：新規採用職員、新任係長

参加人数：13 人

内 容：「NPO との協働のまちづくり」をテーマに、協働の基本、協働に関する基礎知識の習得と市民協働の考え方や必要性、行政と NPO が互いの特性を知り、協働を進めるコツや協働による効果等を話した。

ホームページ御前崎市市民活動情報ネットの管理

実施日：毎月15日と月末に更新

内 容：ホームページ管理と更新、市民活動団体の紹介やイベント告知等

その他事業

袋井市協働まちづくり推進委員会

出 席：令和2年5月8日（日）、11月16日、3月16日（書面会議）

会 場：袋井市教育会館会議室

島田市協働のまちづくり推進事業審査委員会

出 席：令和2年9月13日（日）

会 場：プラザおおるり多目的室

(2) 芸術文化支援事業

菊川市1%地域づくり活動交付金事業

まち×人×アートプロジェクト

「みんなのアソビバ」に向けてのワークショップ

開催日：令和2年9月12日（土）

会 場：菊川市役所東館プラザきくる会議室

内 容：「みんなのアソビバ」に向けての講義とアイデア出し

講 師：土肥潤也氏（一般社団法人トリナス、NPO 法人わかもののまち代表理事）

参加者：常葉大学附属美術・デザイン科生徒 54 人

「みんなのアソビバ」

開催日：令和2年11月1日（土）

会 場：きくる広場

内 容：高校生がアートをモチーフにしたさまざまなアソビが体験できるコーナーが
設け、きくる広場は誰もが自由に遊べる芝生の空間に大変身した。高校生が得意
のアートで地域の子どもから大人まで多くの人と交流を楽しんだ。

参加者：子どもから大人まで約 400 人

アートで巡る「きくがわ灯りの散歩道」

開催日：令和3年3月19日（金）

会 場：菊川赤レンガ倉庫、きくる広場

内 容：掛川工業高校生徒の卒業制作「菊川 PR プロジェクションマッピング」の

上映と市民活動団体たねあかりの「竹灯籠展」を様々な団体や企業、地元商店街等と協働で実施することで菊川市の賑わいづくりに貢献した。

協 力：掛川工業高校、たねあかり、NPO 法人菊川まちいき、ニーム、菊川ジュニアビレッジ、セカンドライフマスターズクラブ、(株)つきの丘
菊川市賑わいづくり研究会、菊川市

参加者：約 1,000 人

フリーペーパー「K I K U G A W A A R T 2021」発行

内 容：菊川の魅力をアートの視点で発信するフリーペーパー。

全 1 2 ページにわたり、2020 年度に菊川市内で行われたアートイベントの数々を、写真やレポート・主催者の声などを交えながら紹介している。

発 行：2,000 部

市民活動に関心のある人、常葉中高校生、市内外公共機関等に配布

協 力：常葉大学附属菊川高校

馬×アートプロジェクト

実施期間：令和 2 年 10 月～令和 3 年 3 月

内 容：馬と共に“まちづくり”に寄与し、自然と人間が共生する大切さを啓発する
NPO 法人とコラボして、馬糞ペーパーを試作・制作。

共 催：NPO 法人うまのあと

(3) まちづくりネットワーク形成に関する事業

ソーシャルビジネスセミナー

開催日：令和 2 年 8/27・9/3・9/10・9/18・9/26・10/1・10/8（全 7 回）

会 場：菊川市役所東館プラザきくる多目的エリア

ラブリ na 牧場

講 師：川端務夢氏、佐藤和枝氏（NPO 未来化プロジェクト）

協 力：アップル税理士事務所、NPO 法人うまのあと

参加者：14 人

講座内容：社会起業家として絶対必要な基礎づくりを行う。全 7 回。

第 1 回 ガイダンス&ソーシャルビジネスの概論

第 2 回 ソーシャルビジネスにおけるマーケティング

第 3 回 経営に欠かせない思考方法

第 4 回 会計基礎と資金調達の手法

第5回 社会的課題現場をフィールドワーク

第6回 各自の事業構想をグループ討論 ブラッシュアップ

第7回 事業構想プレゼン

企業×行政共同開催研修 ～チームビルディング&企画力向上研修～

＊菊川市総務課 委託事業

開催日： 令和2年11月10日（火）

会 場： 菊川市役所東館プラザきくる多目的エリア

講 師： 飯倉清太氏（NPO 法人 NPO サプライズ代表理事）

参加人数： 24 人

内 容：民間企業及び自治体職員が交流し共に学び、まちの発展に寄与できる人材を育成し、公民連携の強化や業務における視野の拡大を図ることを目的に開催した。

ワークショップでは、官民連携のチームで取り組む企画について考え、参加者たちで意見を交換した。

中東遠地域NPOプレゼント講座（協力事業）

① まちを育てる！戦略的クラウドファンディングの活用法！

開催日：令和2年11月14日（土）

講 師： 一般社団法人トリナス代表理事 土肥潤也氏、
日本ファンドレイジング協会静岡チャプター代表 木下 聡氏

会 場： 菊川市役所庁舎東館プラザきくる多目的エリア

参加人数：23 人

内 容：焼津駅前通り商店街の空き店舗を活用し、本を通じて市民が集まる場所、私設公共空間「みんなの図書館さんかく」を開設するため、ファンドレイザーが伴走しながらクラウドファンディングを成功に導いた事例をトークセッション形式にて実施した。

主 催：（公財）静岡県労働者福祉基金協会

企画・運営：NPO 法人クロスメディアしまだ・NPO 法人アートコラールきくがわ

②ふじのくに地域芸術セッション なぜ「まちづくりにアート」が必要か？

開催日：令和3年1月30日（土）

会 場：菊川市役所庁舎東館プラザきくる会議室

登壇者：・富士の山ビエンナーレ実行委員会代表

- ・遠州横須賀倶楽部広報奉行
- ・原泉アートデイズ代表、
- ・特定非営利活動法人アートコラールきくがわ理事長
- ・特定非営利活動法人クロスメディアしまだ理事長

参加人数：25 人

内 容：「なぜまちづくりにアートが必要か？」を題材に、芸術活動を核にした地域づくりに取り組む県内の5団体の代表が意見交換をした。

主 催：(公財)静岡県労働者福祉基金協会

企画・運営 NPO 法人クロスメディアしまだ・NPO 法人アートコラールきくがわ